

## 第3章 事業所

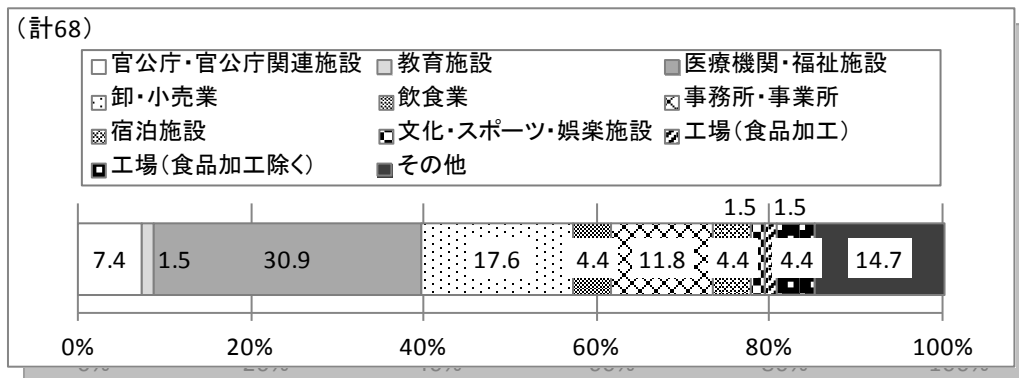


# 1 属性項目

## 質問1 業種

回答のあった事業所の業種は、「医療機関・福祉施設」が30.9%で最も多くなっています。次いで、「卸・小売業」(17.6%)、「事務所・事業所」(11.8%)となっています。「その他」ではマンションや寮、賃貸業などとなっています。

### ■業種■



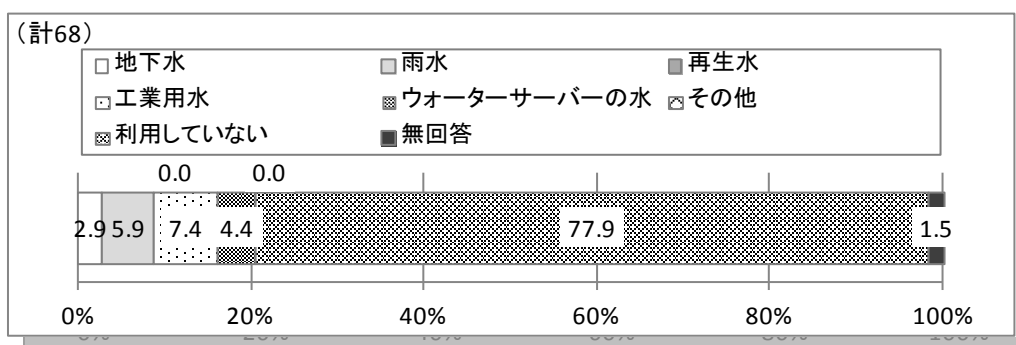
## 2 利用している水について

### 質問2 水道水以外で主に利用している水

水道水以外で主に利用している水は、「利用していない」が 77.9%で最も多くなっています。利用されているものでは、「工業用水」が 7.4%で最も多くなっており、次いで「雨水」(5.9%)、「ウォーターサーバーの水」(4.4%)となっています。「再生水」の利用はありませんでした。

業種別でみると、「地下水」の利用があったのは「医療機関・福祉施設」、「雨水」の利用があったのは「官公庁・官公庁関連施設」や「教育施設」、「文化・スポーツ・娯楽施設」、「工業用水」の利用があったのは「医療機関・福祉施設」や「卸・小売業」、「事務所・事業所」や「工場（食品加工除く）」、「ウォーターサーバーの水」の利用があったのは「医療機関・福祉施設」や「卸・小売業」となっています。

■水道水以外で主に利用している水■



■質問1 業種×質問2 水道水以外で主に利用している水■

(単位：か所)

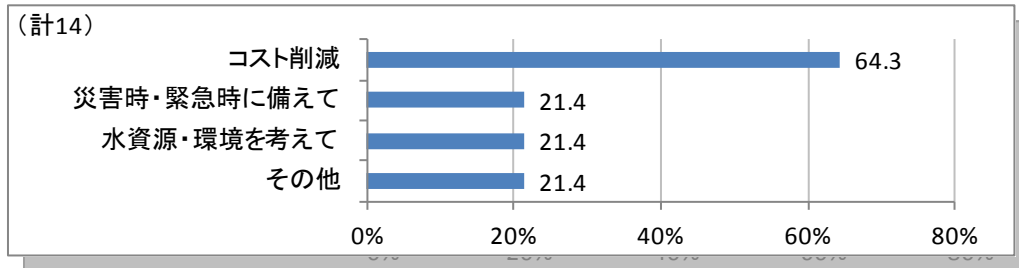
	地下水	雨水	再生水	工業用水	ウォーターサーバーの水	その他	利用していない
全体 (計：67)	2	4	-	5	3	-	53
官公庁・官公庁関連施設 (計：4)	-	1	-	-	-	-	3
教育施設 (計：1)	-	1	-	-	-	-	-
医療機関・福祉施設 (計：21)	1	-	-	1	2	-	17
卸・小売業 (計：12)	-	-	-	1	1	-	10
飲食業 (計：3)	-	-	-	-	-	-	3
事務所・事業所 (計：8)	-	-	-	2	-	-	6
宿泊施設 (計：3)	-	-	-	-	-	-	3
文化・スポーツ・娯楽施設 (計：1)	-	1	-	-	-	-	-
工場（食品加工） (計：1)	-	-	-	-	-	-	1
工場（食品加工除く） (計：3)	-	-	-	1	-	-	2
その他 (計：10)	1	1	-	-	-	-	8

※サンプル数が少ないため参考値とします

### 質問2-1 水道水以外の水を利用している理由

水道水以外の水を利用している理由では、「コスト削減」が64.3%で最も多くなっています。「災害時・緊急時に備えて」と「水資源・環境を考えて」はともに21.4%となっています。

■水道水以外の水を利用している理由■



■質問2 主に利用している水×質問2-1 水道水以外の水を利用している理由■

(単位：か所)

	コスト削減	災害時・緊急時に備えて	水資源・環境を考えて	その他
全 体 (計：14)	8	3	3	3
地 下 水 (計：2)	2	1	-	-
雨 水 (計：4)	3	1	1	-
再 生 水 (計：0)	-	-	-	-
工 業 用 水 (計：5)	4	1	2	-
ウォーターサーバーの水 (計：3)	-	-	-	3
そ の 他 (計：0)	-	-	-	-
利用していない (計：0)	-	-	-	-

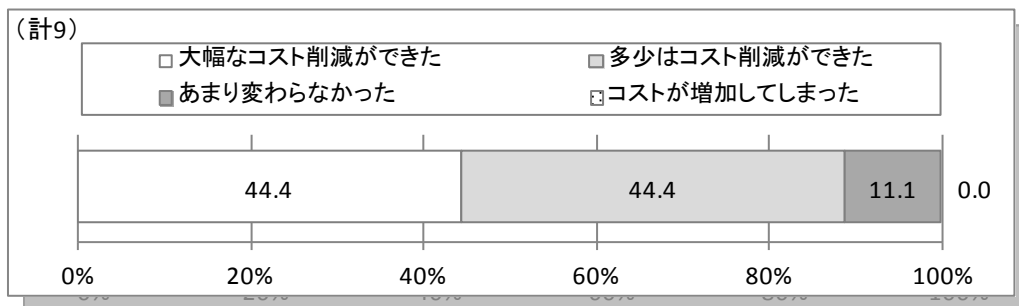
※サンプル数が少ないため参考値とします

## 質問2-2 コスト削減状況

コストの削減状況では、4か所が「大幅なコスト削減ができた」、4か所が「コスト削減ができた」と回答しています。なお、「あまり変わらなかった」が1か所あり、コストが増加した事業所はありませんでした。

また、「地下水」や「雨水」を利用している事業所においては、大幅もしくは多少のコスト削減となっています。

### ■コスト削減状況■



### ■質問2 主に利用している水×質問2-2 コスト削減状況■

(単位：か所)

	大幅なコスト削減ができた	多少はコスト削減ができた	あまり変わらなかった	コストが増加してしまった
全体 (計：9)	4	4	1	-
地下水 (計：2)	2	-	-	-
雨水 (計：3)	2	1	-	-
再生水 (計：0)	-	-	-	-
工業用水 (計：4)	-	3	1	-
ウォーターサーバーの水 (計：0)	-	-	-	-
その他 (計：0)	-	-	-	-
利用していない (計：0)	-	-	-	-

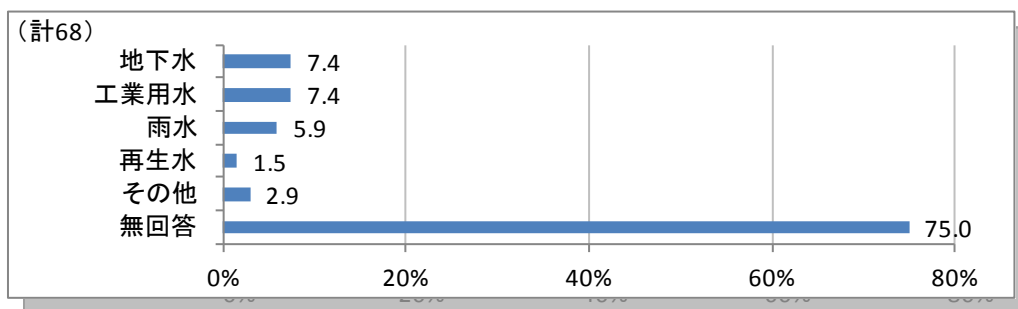
※サンプル数が少ないため参考値とします

### 質問3 利用検討している水資源

利用検討している水資源では、「地下水」と「工業用水」が7.4%となっています。次いで、「雨水」(5.9%)、「再生水」(1.5%)となっています。

「地下水」の利用を検討しているのは、「官公庁・官公庁関連施設」と「医療機関・福祉施設」、「雨水」の利用を検討しているのは「官公庁・官公庁関連施設」と「文化・スポーツ・娯楽施設」、「工場（食品加工除く）」、「再生水」の利用を検討しているのは「医療機関・福祉施設」、「工業用水」の利用を検討しているのは「医療機関・福祉施設」と「卸・小売業」、「事務所・事業所」と「工場（食品加工）」、「工場（食品加工除く）」となっています。

■利用検討している水資源■



■質問1 業種×質問3 利用検討している水資源■

(単位：%)

	地下水	雨水	再生水	工業用水	その他	無回答
全 体 (計：68)	5	4	1	5	2	51
官公庁・官公庁関連施設 (計：5)	1	1	-	-	-	3
教 育 施 設 (計：1)	-	-	-	-	-	1
医 療 機 関 ・ 福 祉 施 設 (計：21)	3	-	1	1	2	14
卸 ・ 小 売 業 (計：12)	-	-	-	1	-	11
飲 食 業 (計：3)	-	-	-	-	-	3
事 務 所 ・ 事 業 所 (計：8)	-	-	-	1	-	7
宿 泊 施 設 (計：3)	-	-	-	-	-	3
文化・スポーツ・娯楽施設 (計：1)	-	1	-	-	-	-
工 場 (食 品 加 工) (計：1)	-	-	-	1	-	-
工 場 (食 品 加 工 除 く) (計：3)	-	1	-	1	-	1
そ の 他 (計：10)	1	1	-	-	-	8

※サンプル数が少ないため参考値とします

### 3 水道水について

#### 質問4 節水への取り組み

節水への取り組みについて、「節水型機器の導入」では、「積極的に取り組んでいる」と「まあまあ取り組んでいる」を合わせると 27.9%、「あまり取り組んでいない」と「取り組んでいない」を合わせると 48.6% となり、取り組んでいない割合が多くなっています。

「漏水の防止（点検・修繕）」では、「積極的に取り組んでいる」と「まあまあ取り組んでいる」を合わせると 63.2%となっています。

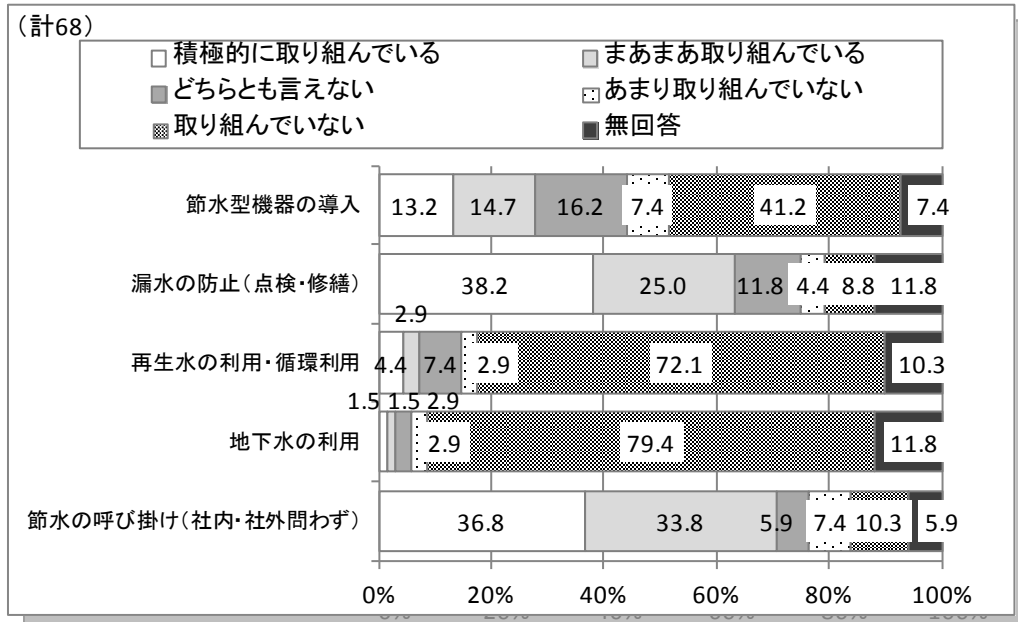
「再生水の利用・循環利用」では、「あまり取り組んでいない」と「取り組んでいない」を合わせると 75.0%となっています。

「地下水の利用」では、「あまり取り組んでいない」と「取り組んでいない」を合わせると 82.3%となっています。

「節水の呼び掛け（社内・社外問わず）」では、「積極的に取り組んでいる」と「まあまあ取り組んでいる」を合わせると 70.6%となっています。

「漏水の防止（点検・修繕）」や「節水の呼び掛け（社内・社外問わず）」は他の取り組みと比較すると、費用をあまりかけずに取り組めることから、取り組んでいる割合が高くなっていると考えられます。

■ 節水への取り組み ■





## 質問4×質問1 業種×節水への取り組み

### ①節水型機器の導入

「節水型機器の導入」を業種別にみると、「積極的に取り組んでいる」事業所は「医療機関・福祉施設」と「卸・小売業」がそれぞれ3か所、「事務所・事業所」と「宿泊施設」がそれぞれ1か所となっています。

#### ■質問1 業種×質問4 節水型機器の導入■

(単位：か所)

	積極的に取り組んでいる	まあまあ取り組んでいる	どちらとも言えない	あまり取り組んでいない	取り組んでいない
全体(計：63)	9	10	11	5	28
官公庁・官公庁関連施設(計：5)	-	-	2	-	3
教育施設(計：1)	-	-	-	-	1
医療機関・福祉施設(計：20)	3	2	2	3	10
卸・小売業(計：12)	3	3	1	1	4
飲食業(計：2)	-	1	-	-	1
事務所・事業所(計：7)	1	1	1	1	3
宿泊施設(計：3)	1	1	-	-	1
文化・スポーツ・娯楽施設(計：1)	-	-	1	-	-
工場(食品加工)(計：1)	-	-	1	-	-
工場(食品加工除く)(計：3)	-	-	2	-	1
その他(計：8)	1	2	1	-	4

※サンプル数が少ないため参考値とします

### ②漏水の防止(点検・修繕)

「漏水の防止(点検・修繕)」を業種別にみると、「積極的に取り組んでいる」事業所は「医療機関・福祉施設」が7か所、「卸・小売業」が5か所などとなっており、半数以上の事業所が取り組んでいます。

#### ■質問1 業種×質問4 漏水の防止(点検・修繕)■

(単位：か所)

	積極的に取り組んでいる	まあまあ取り組んでいる	どちらとも言えない	あまり取り組んでいない	取り組んでいない
全体(計：60)	26	17	8	3	6
官公庁・官公庁関連施設(計：4)	1	3	-	-	-
教育施設(計：1)	1	-	-	-	-
医療機関・福祉施設(計：20)	7	4	4	2	3
卸・小売業(計：11)	5	3	2	-	1
飲食業(計：2)	-	1	1	-	-
事務所・事業所(計：7)	2	3	-	-	2
宿泊施設(計：3)	2	1	-	-	-
文化・スポーツ・娯楽施設(計：1)	-	-	1	-	-
工場(食品加工)(計：1)	1	-	-	-	-
工場(食品加工除く)(計：3)	1	2	-	-	-
その他(計：7)	6	-	-	1	-

※サンプル数が少ないため参考値とします

### ③再生水の利用・循環利用

「再生水の利用・循環利用」を業種別にみると、「積極的に取り組んでいる」事業所は「官公庁・官公庁関連施設」と「工場（食品加工）」でそれぞれ1か所のみとなっています。

#### ■質問1 業種×質問4 再生水の利用・循環利用■

(単位：か所)

	積極的に取り組んでいる	まあまあ取り組んでいる	どちらとも言えない	あまり取り組んでいない	取り組んでいない
全 体 (計：61)	3	2	5	2	49
官公庁・官公庁関連施設 (計：5)	1	1	-	-	3
教 育 施 設 (計：1)	-	-	-	-	1
医 療 機 関 ・ 福 祉 施 設 (計：20)	-	1	2	2	15
卸 ・ 小 売 業 (計：11)	-	-	1	-	1-
飲 食 業 (計：2)	-	-	-	-	2
事 務 所 ・ 事 業 所 (計：7)	-	-	-	-	7
宿 泊 施 設 (計：3)	-	-	-	-	3
文化・スポーツ・娯楽施設 (計：1)	-	-	1	-	-
工 場 (食 品 加 工) (計：1)	1	-	-	-	-
工 場 (食 品 加 工 除 く) (計：3)	-	-	1	-	2
そ の 他 (計：7)	1	-	-	-	6

※サンプル数が少ないため参考値とします

### ④地下水の利用

「地下水の利用」を業種別にみると、「積極的に取り組んでいる」事業所は「医療機関・福祉施設」の1か所のみとなっています。

#### ■質問1 業種×質問4 地下水の利用■

(単位：か所)

	積極的に取り組んでいる	まあまあ取り組んでいる	どちらとも言えない	あまり取り組んでいない	取り組んでいない
全 体 (計：60)	1	1	2	2	54
官公庁・官公庁関連施設 (計：4)	-	-	-	-	4
教 育 施 設 (計：1)	-	-	-	-	1
医 療 機 関 ・ 福 祉 施 設 (計：20)	1	1	1	1	16
卸 ・ 小 売 業 (計：11)	-	-	-	-	11
飲 食 業 (計：2)	-	-	-	-	2
事 務 所 ・ 事 業 所 (計：7)	-	-	-	-	7
宿 泊 施 設 (計：3)	-	-	-	-	3
文化・スポーツ・娯楽施設 (計：1)	-	-	1	-	-
工 場 (食 品 加 工) (計：1)	-	-	-	-	1
工 場 (食 品 加 工 除 く) (計：3)	-	-	-	1	2
そ の 他 (計：7)	-	-	-	-	7

※サンプル数が少ないため参考値とします

### ⑤節水の呼び掛け(社内・社外問わず)

「節水の呼び掛け(社内・社外問わず)」を業種別にみると、「積極的に取り組んでいる」事業所は「医療機関・福祉施設」が7か所、「卸・小売業」が4か所、「官公庁・官公庁関連施設」と「事務所・事業所」がそれぞれ3か所などとなっており、他の取り組みと比較すると、最も積極的に取り組まれています。

#### ■質問1 業種×質問4 節水の呼び掛け(社内・社外問わず)■

(単位：か所)

	積極的に取り組んでいる	まあまあ取り組んでいる	どちらとも言えない	あまり取り組んでいない	取り組んでいない
全体(計：64)	25	23	4	5	7
官公庁・官公庁関連施設(計：5)	3	1	-	1	-
教育施設(計：1)	-	1	-	-	-
医療機関・福祉施設(計：21)	7	9	1	2	2
卸・小売業(計：11)	4	5	-	1	1
飲食業(計：2)	1	-	-	-	1
事務所・事業所(計：8)	3	4	-	1	-
宿泊施設(計：3)	1	-	2	-	-
文化・スポーツ・娯楽施設(計：1)	-	-	1	-	-
工場(食品加工)(計：1)	1	-	-	-	-
工場(食品加工除く)(計：3)	1	1	-	-	1
その他(計：8)	4	2	-	-	2

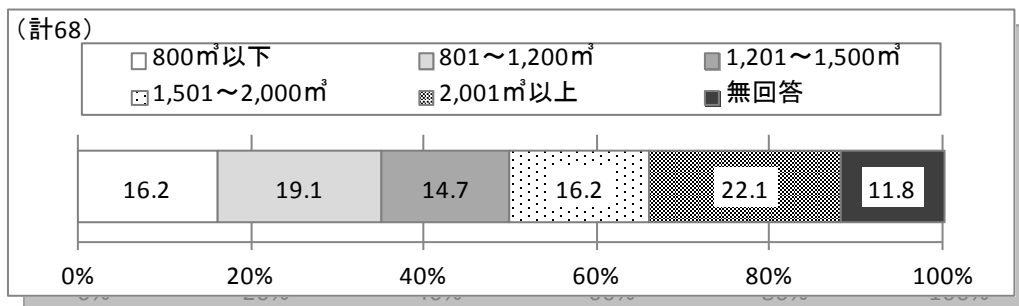
※サンプル数が少ないため参考値とします

## 質問5 使用水量

使用水量は、「2,001 m<sup>3</sup>以上」が 22.1%で最も多くなっています。次いで、「801~1,200 m<sup>3</sup>」（19.1%）、「800 m<sup>3</sup>以下」と「1,501~2,000 m<sup>3</sup>」（ともに 16.2%）となっています。

業種別にみると、「2,001 m<sup>3</sup>以上」の使用があるのは、「医療機関・福祉施設」が6か所、「事務所・事業所」が3か所、「卸・小売業」が2か所、「官公庁・官公庁関連施設」と「教育施設」がそれぞれ1か所となっています。

■使用水量■



■質問1 業種×質問5 使用水量■

(単位：か所)

	800 m <sup>3</sup> 以下	801~1,200 m <sup>3</sup>	1,201~1,500 m <sup>3</sup>	1,501~2,000 m <sup>3</sup>	2,001 m <sup>3</sup> 以上
全体 (計：60)	11	13	10	11	15
官公庁・官公庁関連施設 (計：5)	-	1	-	3	1
教育施設 (計：1)	-	-	-	-	1
医療機関・福祉施設 (計：19)	1	5	2	5	6
卸・小売業 (計：9)	2	3	2	-	2
飲食業 (計：3)	2	-	1	-	-
事務所・事業所 (計：8)	2	3	-	-	3
宿泊施設 (計：2)	1	-	1	-	-
文化・スポーツ・娯楽施設 (計：1)	-	-	-	-	-
工場（食品加工） (計：1)	-	-	-	1	-
工場（食品加工除く） (計：3)	-	-	2	1	-
その他 (計：9)	3	1	2	1	2

※サンプル数が少ないため参考値とします

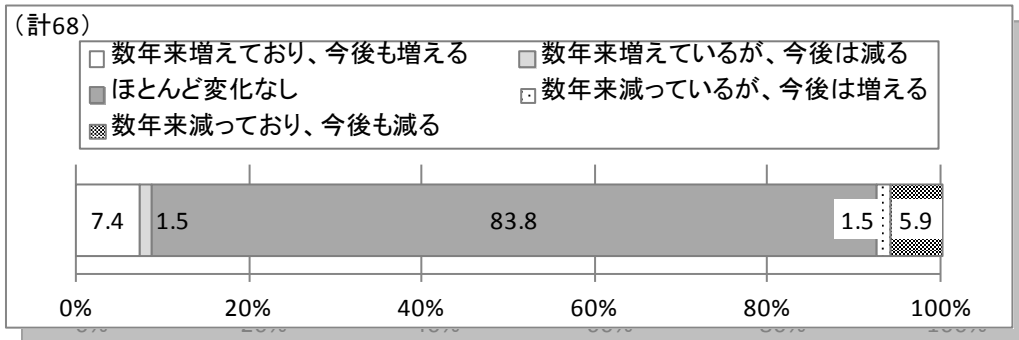
## 質問6 使用水量の状況

使用水量の状況では、「ほとんど変化なし」が83.8%を占めています。

使用水量が今後増える可能性のある業種は、「医療機関・福祉施設」と「卸・小売業」がそれぞれ2事業所ずつ、「事務所・事業所」と「工場（食品加工除く）」がそれぞれ1か所となっています。

一方、使用水量が今後減る可能性のある業種は、「宿泊施設」が2か所、「医療機関・福祉施設」と「卸・小売業」、「飲食業」がいずれも1か所となっています。

■使用水量の状況■



■質問1 業種×質問6 使用水量の状況■

(単位：か所)

	数年来増えており、今後も増える	数年来増えているが、今後は減る	ほとんど変化なし	数年来減っているが、今後は増える	数年来減っており、今後も減る
全 体 (計：68)	5	1	57	1	4
官公庁・官公庁関連施設 (計：5)	-	-	5	-	-
教 育 施 設 (計：1)	-	-	1	-	-
医 療 機 関 ・ 福 祉 施 設 (計：21)	2	1	18	-	-
卸 ・ 小 売 業 (計：12)	2	-	9	-	1
飲 食 業 (計：3)	-	-	2	-	1
事 務 所 ・ 事 業 所 (計：8)	-	-	7	1	-
宿 泊 施 設 (計：3)	-	-	1	-	2
文化・スポーツ・娯楽施設 (計：1)	-	-	1	-	-
工 場 (食 品 加 工) (計：1)	-	-	1	-	-
工 場 (食 品 加 工 除 く) (計：3)	1	-	2	-	-
そ の 他 (計：10)	-	-	10	-	-

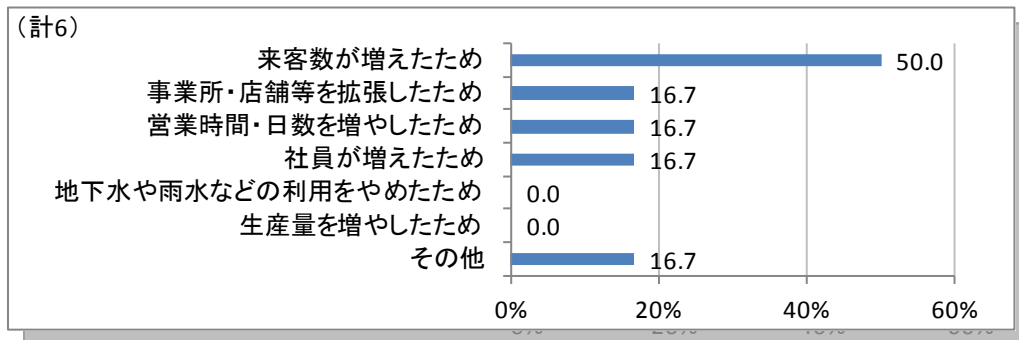
※サンプル数が少ないため参考値とします

### 質問6-1 今後の使用水量の増加理由

今後の使用水量の増加理由では、「来客数が増えたため」が50.0%で最も多くなっています。次いで、「事務所・店舗等を拡張したため」と「営業時間・日数を増やしたため」、「社員が増えたため」がいずれも16.7%となっています。

業種別にみると、「来客数が増えたため」と回答したのは、「卸・小売業」が2か所、「医療機関・福祉施設」が1か所となっています。

■今後の使用水量の増加理由■



■質問1 業種×質問6-1 今後の使用水量の増加理由■

(単位：か所)

	事業所・店舗等を拡張したため	営業時間・日数を増やしたため	生産量を増やしたため	社員が増えたため	来客数が増えたため	地下水や雨水などの利用をやめたため	その他
全体 (計:6)	1	1	-	1	3	-	1
官公庁・官公庁関連施設 (計:0)	-	-	-	-	-	-	-
教育施設 (計:0)	-	-	-	-	-	-	-
医療機関・福祉施設 (計:2)	-	-	-	-	1	-	1
卸・小売業 (計:2)	-	-	-	1	2	-	-
飲食業 (計:0)	-	-	-	-	-	-	-
事務所・事業所 (計:1)	1	-	-	-	-	-	-
宿泊施設 (計:0)	-	-	-	-	-	-	-
文化・スポーツ・娯楽施設 (計:0)	-	-	-	-	-	-	-
工場 (食品加工) (計:0)	-	-	-	-	-	-	-
工場 (食品加工除く) (計:1)	-	1	-	-	-	-	-
その他 (計:0)	-	-	-	-	-	-	-

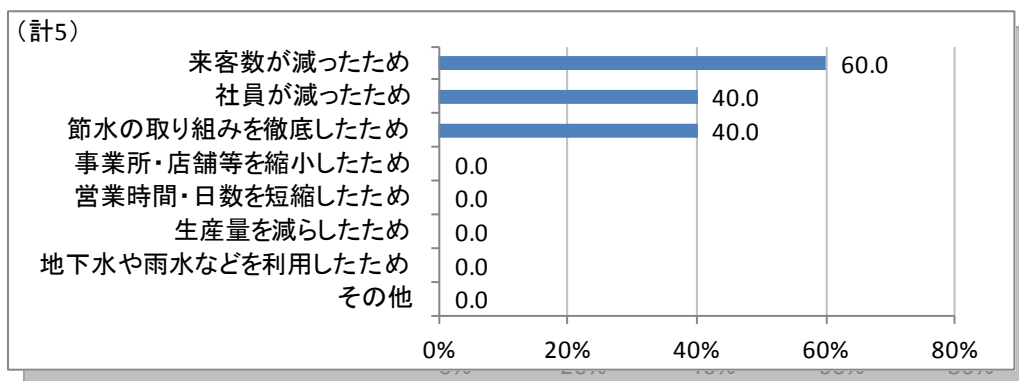
※サンプル数が少ないため参考値とします

## 質問6-2 今後の使用水量の減少理由

今後の使用水量の減少理由では、「来客数が減ったため」が60.0%（3か所）で最も多くなっています。次いで、「社員が減ったため」と「節水の取り組みを徹底したため」、「社員が増えたため」がいずれも16.7%（1か所）となっています。

業種別にみると、「来客数が減ったため」と回答したのは、「医療機関・福祉施設」と「卸・小売業」、「飲食業」でいずれも1か所となっています。「社員が減ったため」と回答したのは、「飲食業」と「宿泊施設」でいずれも1か所となっています。「節水の取り組みを徹底したため」と回答したのは、「卸・小売業」と「宿泊施設」でいずれも1か所となっています。

■今後の使用水量の減少理由■



■質問1 業種×質問6-2 今後の使用水量の減少理由■

(単位：か所)

	事業所 店舗等 を縮小 した ため	営業時 間・日数 を短縮 した ため	生産量 を減ら した ため	社員が 減った ため	来客数 が 減った ため	地下水 や雨水 などを 利用し たため	節水の 取り組 みを徹 底した ため	その他
全 体 (計:5)	-	-	-	2	3	-	2	-
官公庁・官公庁関連施設 (計:0)	-	-	-	-	-	-	-	-
教 育 施 設 (計:0)	-	-	-	-	-	-	-	-
医 療 機 関 ・ 福 祉 施 設 (計:1)	-	-	-	-	1	-	-	-
卸 ・ 小 売 業 (計:1)	-	-	-	-	1	-	1	-
飲 食 業 (計:1)	-	-	-	1	1	-	-	-
事 務 所 ・ 事 業 所 (計:0)	-	-	-	-	-	-	-	-
宿 泊 施 設 (計:2)	-	-	-	1	-	-	1	-
文化・スポーツ・娯楽施設 (計:0)	-	-	-	-	-	-	-	-
工 場 (食 品 加 工) (計:0)	-	-	-	-	-	-	-	-
工 場 (食 品 加 工 除 く) (計:0)	-	-	-	-	-	-	-	-
そ の 他 (計:0)	-	-	-	-	-	-	-	-

※サンプル数が少ないため参考値とします

### 3 水道料金について

#### 質問7 水道料金

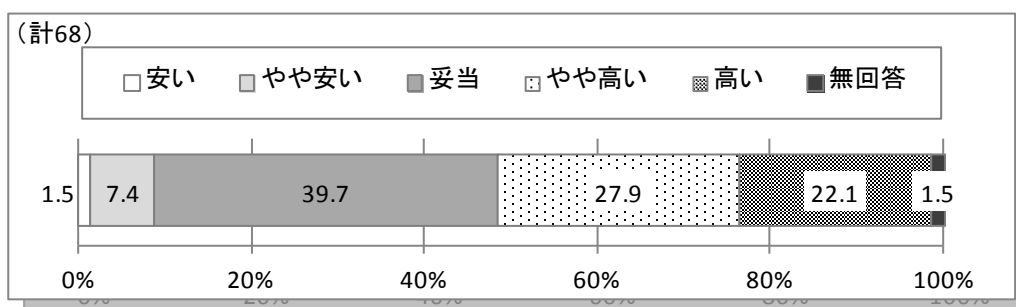
水道料金については、「妥当」が39.7%で最も多くなっています。次いで、「やや高い」(27.9%)、「高い」(22.1%)となっており、「やや安い」は7.4%、「安い」は1.5%となっています。

業種別にみると、「やや高い」、「高い」と回答したのは、「医療機関・福祉施設」が14か所、「卸・小売業」と「事務所・事業所」がいずれも3か所、「工場（食品加工除く）」が2か所などとなっています。一方、「安い」、「やや安い」と回答したのは、「事務所・事業所」が2か所、「医療機関・福祉施設」と「卸・小売業」、「飲食業」と「宿泊施設」がいずれも1か所となっています。

水道水以外で利用している水別でみると、「地下水」では「安い」が2か所、「雨水」では「妥当」と「やや高い」がいずれも2か所、「工業用水」では「妥当」が3か所、「やや安い」と「やや高い」がいずれも1か所、「ウォーターサーバーの水」では「妥当」が2か所、「やや高い」が1か所となっています。

使用水量別でみると、「安い」、「やや安い」と回答したのは、「800 m<sup>3</sup>以下」、「801～1,200 m<sup>3</sup>」、「1,201～1,500 m<sup>3</sup>」、「1,501～2,000 m<sup>3</sup>」でそれぞれ1か所、「2,001 m<sup>3</sup>以上」で2か所となっています。一方、「やや高い」、「高い」と回答したのは、「800 m<sup>3</sup>以下」で4か所、「801～1,200 m<sup>3</sup>」で5か所、「1,201～1,500 m<sup>3</sup>」で7か所、「1,501～2,000 m<sup>3</sup>」で6か所、「2,001 m<sup>3</sup>以上」で10か所となっています。

■水道料金■



■質問1 業種×質問7 水道料金■

(単位：か所)

	安い	やや安い	妥当	やや高い	高い
全 体 (計：67)	1	5	27	19	15
官公庁・官公庁関連施設 (計：5)	-	-	4	-	1
教 育 施 設 (計：1)	-	-	-	1	-
医 療 機 関 ・ 福 祉 施 設 (計：21)	-	1	6	10	4
卸 ・ 小 売 業 (計：12)	-	1	8	2	1
飲 食 業 (計：3)	-	1	1	1	-
事 務 所 ・ 事 業 所 (計：8)	1	1	3	1	2
宿 泊 施 設 (計：3)	-	1	1	-	1
文化・スポーツ・娯楽施設 (計：1)	-	-	1	-	-
工 場 ( 食 品 加 工 ) (計：1)	-	-	-	-	1
工 場 ( 食 品 加 工 除 く ) (計：3)	-	-	1	1	1
そ の 他 (計：9)	-	-	2	3	4

※サンプル数が少ないため参考値とします



■質問2 水道水以外で利用している水×質問7 水道料金■

(単位：か所)

	安い	やや安い	妥当	やや高い	高い
全 体 (計：66)	1	5	26	19	15
地 下 水 (計：2)	-	-	-	-	2
雨 水 (計：4)	-	-	2	2	-
再 生 水 (計：0)	-	-	-	-	-
工 業 用 水 (計：5)	-	1	3	1	-
ウォーターサーバーの水 (計：3)	-	-	2	1	-
そ の 他 (計：0)	-	-	-	-	-
利 用 し て い な い (計：52)	1	4	19	15	13

※サンプル数が少ないため参考値とします

■質問5 使用水量×質問7 水道料金■

(単位：か所)

	安い	やや安い	妥当	やや高い	高い
全 体 (計：59)	1	5	21	19	13
800 m <sup>3</sup> 以下 (計：11)	-	1	6	4	-
801～1,200 m <sup>3</sup> (計：13)	1	-	7	2	3
1,201～1,500 m <sup>3</sup> (計：9)	-	1	1	5	2
1,501～2,000 m <sup>3</sup> (計：11)	-	1	4	4	2
2,001 m <sup>3</sup> 以上 (計：15)	-	2	3	4	6

質問7×質問4 節水への取り組み×水道料金

①節水型機器の導入

節水型機器の導入に「積極的に取り組んでいる」事業所では、「高い」が4か所、「まあまあ取り組んでいる」事業所では、「妥当」が6か所で最も多くなっています。一方、「あまり取り組んでいない」事業所では「やや安い」と「妥当」がいずれも2か所、「取り組んでいない」事業所では「やや高い」が12か所で最も多くなっています。

■質問4 節水型機器の導入×質問7 水道料金■

(単位：か所)

	安い	やや安い	妥当	やや高い	高い
全 体 (計：63)	1	5	25	19	13
積極的に取り組んでいる (計：9)	-	-	3	2	4
まあまあ取り組んでいる (計：10)	-	2	6	2	-
どちらとも言えない (計：11)	-	1	3	2	5
あまり取り組んでいない (計：5)	-	2	2	1	-
取 り 組 ん で い な い (計：28)	1	-	11	12	4

※サンプル数が少ないため参考値とします

## ②漏水の防止(点検・修繕)

漏水の防止(点検・修繕)に「積極的に取り組んでいる」事業所では、「妥当」と「高い」がいずれも8か所、「まあまあ取り組んでいる」事業所では、「妥当」が8か所で最も多くなっています。一方、「あまり取り組んでいない」事業所では「高い」が2か所、「取り組んでいない」事業所では「やや高い」が3か所で最も多くなっています。

### ■質問4 漏水の防止(点検・修繕)×質問7 水道料金■

(単位：か所)

	安い	やや安い	妥当	やや高い	高い
全 体(計：60)	1	5	21	19	14
積極的に取り組んでいる(計：26)	-	3	8	7	8
まあまあ取り組んでいる(計：17)	1	1	8	5	2
どちらとも言えない(計：8)	-	1	3	3	1
あまり取り組んでいない(計：3)	-	-	-	1	2
取り組んでいない(計：6)	-	-	2	3	1

※サンプル数が少ないため参考値とします

## ③再生水の利用・循環利用

再生水の利用・循環利用に「積極的に取り組んでいる」事業所では、「妥当」と「やや高い」、「高い」がいずれも1か所、「まあまあ取り組んでいる」事業所では、「やや高い」と「高い」がいずれも1か所となっています。一方、「あまり取り組んでいない」事業所では「妥当」と「やや高い」がいずれも1か所、「取り組んでいない」事業所では「妥当」が18か所で最も多くなっています。

### ■質問4 再生水の利用・循環利用×質問7 水道料金■

(単位：か所)

	安い	やや安い	妥当	やや高い	高い
全 体(計：61)	1	5	23	19	13
積極的に取り組んでいる(計：3)	-	-	1	1	1
まあまあ取り組んでいる(計：2)	-	-	-	1	1
どちらとも言えない(計：5)	-	-	3	2	-
あまり取り組んでいない(計：2)	-	-	1	1	-
取り組んでいない(計：49)	1	5	18	14	11

※サンプル数が少ないため参考値とします

#### ④地下水の利用

地下水の利用に「積極的に取り組んでいる」事業所では、「高い」が1か所、「まあまあ取り組んでいる」事業所では、「やや高い」が1か所となっています。一方、「あまり取り組んでいない」事業所では「妥当」と「やや高い」がいずれも1か所、「取り組んでいない」事業所では「妥当」が19か所で最も多くなっています。

#### ■質問4 地下水の利用×質問7 水道料金■

(単位：か所)

	安い	やや安い	妥当	やや高い	高い
全 体 (計：60)	1	5	22	19	13
積極的に取り組んでいる (計：1)	-	-	-	-	1
まあまあ取り組んでいる (計：1)	-	-	-	1	-
どちらとも言えない (計：2)	-	-	2	-	-
あまり取り組んでいない (計：2)	-	-	1	1	-
取り組んでいない (計：54)	1	5	19	17	12

※サンプル数が少ないため参考値とします

#### ⑤節水の呼び掛け(社内・社外問わず)

節水の呼び掛け(社内・社外問わず)に「積極的に取り組んでいる」事業所では、「妥当」が11か所、「まあまあ取り組んでいる」事業所では、「やや高い」が9か所で最も多くなっています。一方、「あまり取り組んでいない」事業所では「妥当」と「やや高い」がいずれも2か所、「取り組んでいない」事業所では「妥当」が3か所で最も多くなっています。

#### ■質問4 節水の呼び掛け(社内・社外問わず)×質問7 水道料金■

(単位：か所)

	安い	やや安い	妥当	やや高い	高い
全 体 (計：64)	1	5	25	19	14
積極的に取り組んでいる (計：25)	-	1	11	5	8
まあまあ取り組んでいる (計：23)	1	2	7	9	4
どちらとも言えない (計：4)	-	1	2	1	-
あまり取り組んでいない (計：5)	-	1	2	2	-
取り組んでいない (計：7)	-	-	3	2	2

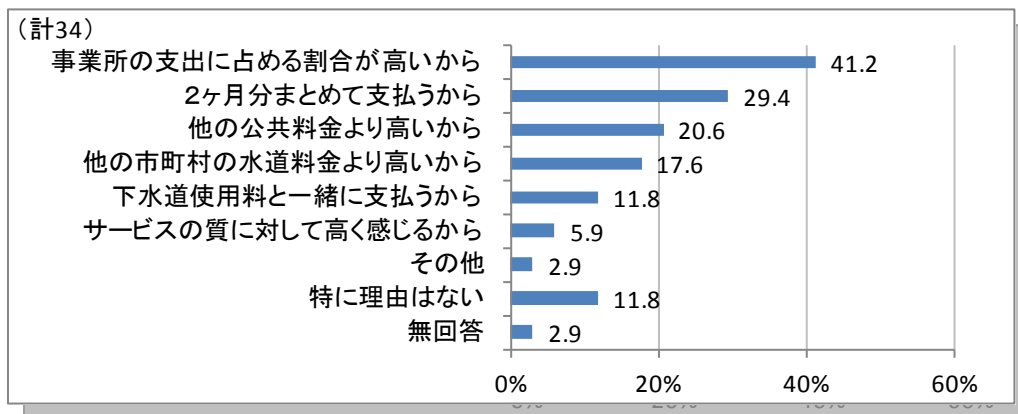
※サンプル数が少ないため参考値とします

## 質問7-1 水道料金が高いと感じる理由

水道料金が「やや高い」、「高い」と感じる理由は、「事業所の支出に占める割合が高いから」が41.2%で最も多くなっています。次いで、「2ヶ月分まとめて支払うから」(29.4%)、「他の公共料金より高いから」(20.6%)となっています。

業種別にみると、「事業所の支出に占める割合が高いから」と回答したのは、「医療機関・福祉施設」が7か所、「教育施設」、「宿泊施設」、「工場（食品加工）」、「工場（食品加工除く）」がいずれも1か所となっています。

### ■水道料金が高いと感じる理由■



### ■質問1 業種×質問7-1 水道料金が高いと感じる理由■

(単位：か所)

	事業所の支出に占める割合が高いから	2ヶ月分まとめて支払うから	下水道使用料と一緒に支払うから	他の公共料金より高いから	他の市町村の水道料金より高いから	サービスの質に対して高く感じるから	その他	特に理由はない
全 体 (計：33)	14	10	4	7	6	2	1	4
官公庁・官公庁関連施設 (計：1)	0	0	0	1	0	0	0	0
教 育 施 設 (計：1)	1	0	0	0	0	0	0	0
医 療 機 関 ・ 福 祉 施 設 (計：14)	7	7	2	3	1	1	1	1
卸 ・ 小 売 業 (計：3)	0	1	1	0	2	1	0	0
飲 食 業 (計：1)	0	0	0	0	0	0	0	1
事 務 所 ・ 事 業 所 (計：3)	0	1	1	1	0	0	0	1
宿 泊 施 設 (計：1)	1	0	0	0	0	0	0	0
文化・スポーツ・娯楽施設 (計：0)	0	0	0	0	0	0	0	0
工 場 (食 品 加 工) (計：1)	1	0	0	0	1	0	0	0
工 場 (食 品 加 工 除 く) (計：2)	1	0	0	0	0	0	0	1
そ の 他 (計：6)	3	1	0	2	2	0	0	0

※サンプル数が少ないため参考値とします

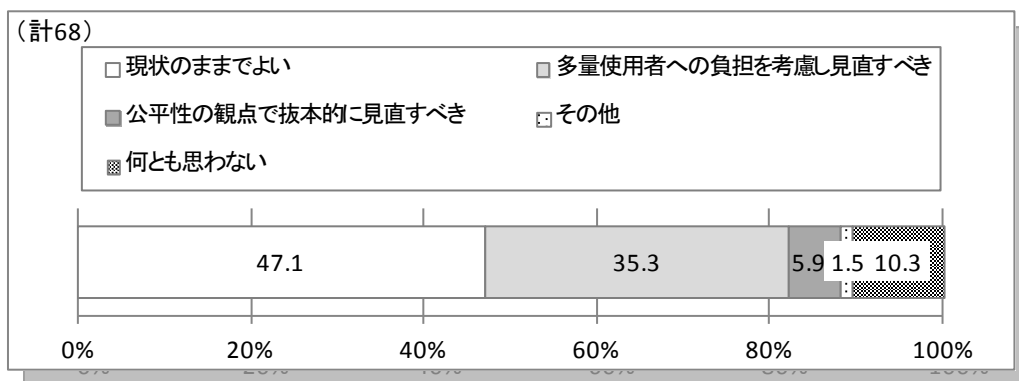
**質問8 従量逡増式** (使用した水量が多くなるに応じて、段階的に単位あたりの料率を高くする料金体系)

現在の従量逡増式の料金体系については、「現状のままでよい」が 47.1%で最も多くなっています。次いで、「多量使用者への負担を考慮し見直すべき」が 35.3%となっています。

使用水量別にみると、「現状のままでよい」は、「800 m<sup>3</sup>以下」の事業所で多くなっています。「多量使用者への負担を考慮し見直すべき」は、1,201 m<sup>3</sup>以上の使用がある事業所で多くなっています。

また、水道料金別にみると、「現状のままでよい」では、「安い」、「やや安い」、「妥当」と回答した事業所で多くなっています。「多量使用者への負担を考慮し見直すべき」では、「やや高い」、「高い」と回答した事業所で多くなっています。

**■従量逡増式について■**



**■質問5 使用水量×質問8 従量逡増式について■**

(単位：か所)

	現状のままでよい	多量使用者への負担を考慮し見直すべき	公平性の観点で抜本的に見直すべき	その他	何とも思わない
全 体 (計：60)	27	22	4	1	6
800 m <sup>3</sup> 以下 (計：11)	8	1	1	-	1
801~1,200 m <sup>3</sup> (計：13)	6	4	-	-	3
1,201~1,500 m <sup>3</sup> (計：10)	3	5	1	-	1
1,501~2,000 m <sup>3</sup> (計：11)	6	5	-	-	-
2,001 m <sup>3</sup> 以上 (計：15)	4	7	2	1	1

※サンプル数が少ないため参考値とします

**■質問7 水道料金×質問8 従量逡増式について■**

(単位：か所)

	現状のままでよい	多量使用者への負担を考慮し見直すべき	公平性の観点で抜本的に見直すべき	その他	何とも思わない
全 体 (計：67)	31	24	4	1	7
安 い (計：1)	1	-	-	-	-
やや安い (計：5)	3	2	-	-	-
妥 当 (計：27)	21	3	-	-	3
やや高い (計：19)	5	10	2	-	2
高 い (計：15)	1	9	2	1	2

※サンプル数が少ないため参考値とします

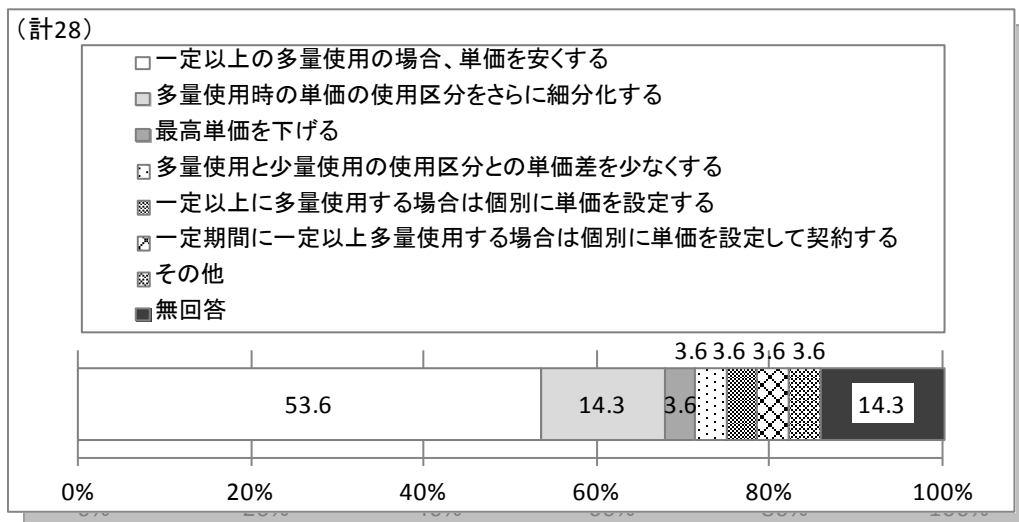
### 質問8-1 料金体系の見直し

料金体系を見直すべきと回答した理由では、「一定以上の多量使用の場合、単価を安くする」が 53.6%で最も多くなっています。次いで、「多量使用時の単価の使用区分をさらに細分化する」(14.3%)となっています。

使用水量別にみると、「一定以上の多量使用の場合、単価を安くする」と回答したのは、「2,001 m<sup>3</sup>以上」の使用がある事業所が5か所、「801~1,200 m<sup>3</sup>」、「1,201~1,500 m<sup>3</sup>」、「1,501~2,000 m<sup>3</sup>」がいずれも1か所となっています。

また、水道料金別にみると、「一定以上の多量使用の場合、単価を安くする」と回答したのは、「やや高い」が7か所、「高い」が5か所、「妥当」が2か所、「やや安い」が1か所となっています。

#### ■料金体系の見直し■



#### ■質問5 使用水量×質問8-1 料金体系の見直し■

(単位：か所)

	一定以上の多量使用の場合、単価を安くする	多量使用時の単価の使用区分をさらに細分化する	最高単価を下げる	多量使用と少量使用の使用区分との単価差を少なくする	一定以上に多量使用する場合は個別に単価を設定する	一定期間に一定以上多量使用する場合は個別に単価を設定して契約する	その他
全体 (計：22)	14	3	1	1	1	1	1
800 m <sup>3</sup> 以下 (計：1)	0	1	0	0	0	0	0
801~1,200 m <sup>3</sup> (計：4)	3	0	0	1	0	0	0
1,201~1,500 m <sup>3</sup> (計：4)	3	1	0	0	0	0	0
1,501~2,000 m <sup>3</sup> (計：4)	3	0	0	0	0	1	0
2,001 m <sup>3</sup> 以上 (計：9)	5	1	1	0	1	0	1

※サンプル数が少ないため参考値とします

■質問7 水道料金×質問8-1 料金体系の見直し■

(単位：か所)

	一定以上の多量使用の場合、単価を安くする	多量使用時の単価の使用区分をさらに細分化する	最高単価を下げる	多量使用と少量使用の使用区分との単価差を少なくする	一定以上に多量使用する場合は個別に単価を設定する	一定期間に一定以上多量使用する場合は個別に単価を設定して契約する	その他
全 体 (計：24)	15	4	1	1	1	1	1
安 い (計：0)	0	0	0	0	0	0	0
やや安い (計：2)	1	1	0	0	0	0	0
妥 当 (計：2)	2	0	0	0	0	0	0
やや高い (計：10)	7	1	1	0	1	0	0
高 い (計：10)	5	2	0	1	0	1	1

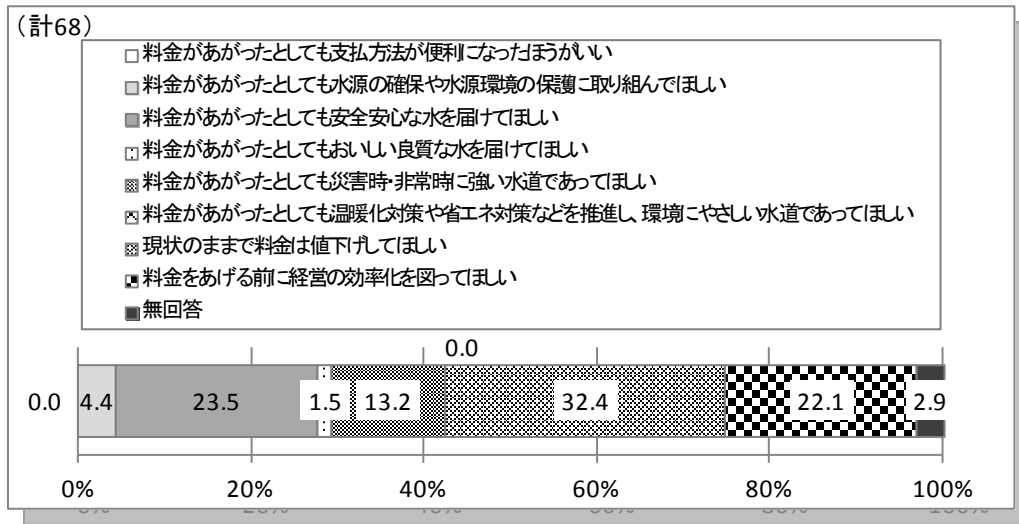
※サンプル数が少ないため参考値とします

### 質問9 料金と水道事業を考えた場合の考え方

料金と水道事業を考えた場合の考え方については、「現状のままで料金は値下げしてほしい」が 32.4%で最も多くなっています。次いで、「料金が上がったとしても安心安全な水を届けてほしい」(23.5%)、「料金をあげる前に経営の効率化を図ってほしい」(22.1%)となっています。

業種別にみると、「現状のままで料金は値下げしてほしい」と回答したのは、「医療機関・福祉施設」が6か所、「卸・小売業」が4か所、「事務所・事業所」が3か所などとなっています。

#### ■料金と水道事業を考えた場合の考え方■



#### ■質問1 業種×質問9 料金と水道事業を考えた場合の考え方■

(単位：か所)

	料金が上がったとしても						現状のままで料金は値下げしてほしい	料金をあげる前に経営の効率化を図ってほしい
	支払方法が便利になったほうがいい	水源の確保や水源環境の保護に取り組んでほしい	安心安全な水を届けてほしい	おいしい良質な水を届けてほしい	災害時・非常時に強い水道であってほしい	温暖化対策や省エネ対策などを推進し、環境にやさしい水道であってほしい		
全 体 (計:66)	-	3	16	1	9	-	22	15
官公庁・官公庁関連施設 (計:5)	-	1	1	-	1	-	1	1
教育施設 (計:1)	-	-	1	-	-	-	-	-
医療機関・福祉施設 (計:20)	-	1	5	1	1	-	6	6
卸・小売業 (計:11)	-	-	3	-	1	-	4	3
飲食業 (計:3)	-	-	2	-	1	-	-	-
事務所・事業所 (計:8)	-	-	1	-	2	-	3	2
宿泊施設 (計:3)	-	-	2	-	-	-	1	-
文化・スポーツ・娯楽施設 (計:1)	-	-	-	-	-	-	-	1
工場(食品加工) (計:1)	-	-	-	-	-	-	1	-
工場(食品加工除く) (計:3)	-	1	-	-	1	-	1	-
その他 (計:10)	-	-	1	-	2	-	5	2

※サンプル数が少ないため参考値とします



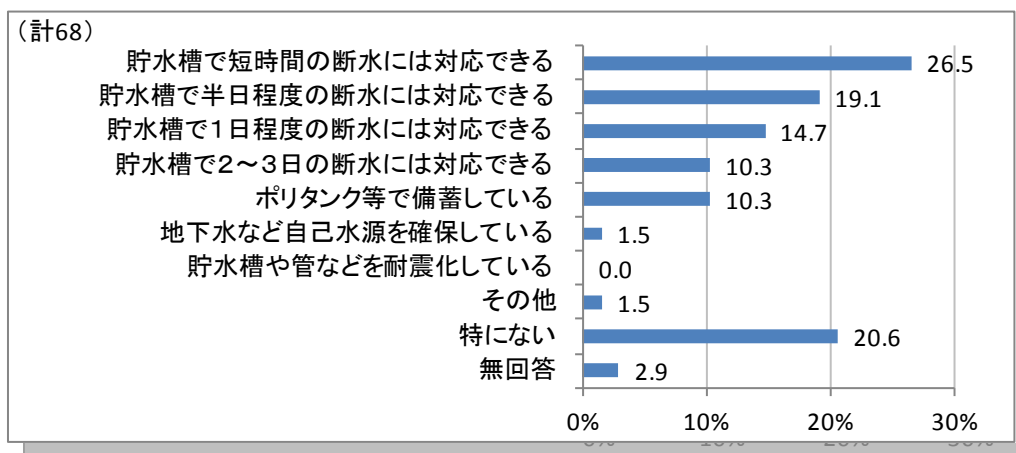
## 4 災害時・非常時について

### 質問10 災害時・断水時における対策

災害時・断水時における対策では、「貯水槽で短時間の断水には対応できる」が26.5%で最も多くなっています。次いで、「貯水槽で半日程度の断水には対応できる」(19.1%)、「貯水槽で1日程度の断水には対応できる」(14.7%)となっています。

業種別にみた対策状況は以下のグラフ(■質問1 業種×質問10 断水時における対策■)に示すものとします。

■災害時・断水時における対策■



■質問1 業種×質問10 断水時における対策■

(単位：か所)

	断水には対応できる	貯水槽で短時間の断水には対応できる	貯水槽で半日程度の断水には対応できる	貯水槽で1日程度の断水には対応できる	貯水槽で2～3日の断水には対応できる	ポリタンク等で備蓄している	地下水など自己水源を確保している	耐震化している	貯水槽や管などを	その他	特にない
全 体 (計：66)	18	13	10	7	7	1	-	1	14		
官公庁・官公庁関連施設 (計：5)	-	1	1	-	1	-	-	-	2		
教 育 施 設 (計：1)	-	1	-	-	-	-	-	-	-		
医 療 機 関 ・ 福 祉 施 設 (計：20)	6	1	5	4	5	1	-	1	1		
卸 ・ 小 売 業 (計：11)	-	4	1	-	-	-	-	-	6		
飲 食 業 (計：3)	-	-	-	1	-	-	-	-	2		
事 務 所 ・ 事 業 所 (計：8)	3	1	2	-	1	-	-	-	1		
宿 泊 施 設 (計：3)	1	1	-	1	-	-	-	-	-		
文 化 ・ ス ポ ー ツ ・ 娯 楽 施 設 (計：1)	-	-	-	-	-	-	-	-	1		
工 場 (食 品 加 工) (計：1)	1	-	-	-	-	-	-	-	-		
工 場 (食 品 加 工 除 く) (計：3)	-	1	1	-	-	-	-	-	1		
そ の 他 (計：10)	7	3	-	1	-	-	-	-	-		

※サンプル数が少ないため参考値とします

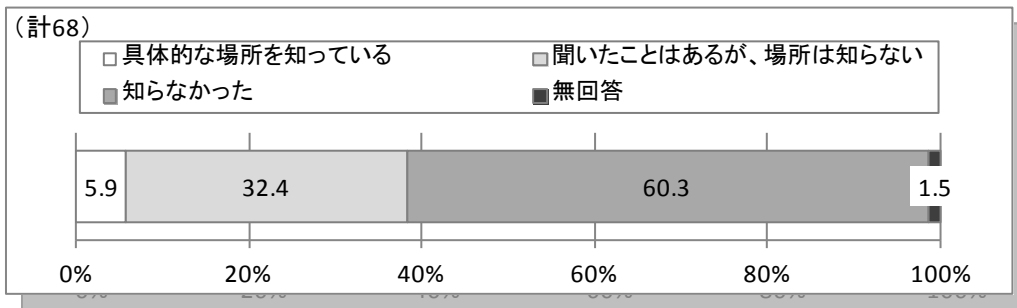
### 質問11 身近な指定給水所の場所

身近な指定給水所の場所については、「知らなかった」が60.3%で最も多くなっています。次いで、「聞いたことはあるが、場所は知らない」が32.4%となっており、合わせると92.7%がおおむね知らないということになります。

業種別にみると、「具体的な場所を知っている」のは「事務所・事業所」が2か所、「官公庁・官公庁関連施設」と「医療機関・福祉施設」がいずれも1か所となっています。

一方、「知らなかった」のは、「医療機関・福祉施設」が13か所、「卸・小売業」が9か所などとなっています。また、「官公庁・官公庁関連施設」や「教育施設」においても、それぞれ4か所、1か所が「知らなかった」と回答しています。

■ 身近な指定給水所の場所 ■



■ 質問11 業種×質問11 身近な指定給水所の場所 ■

(単位：か所)

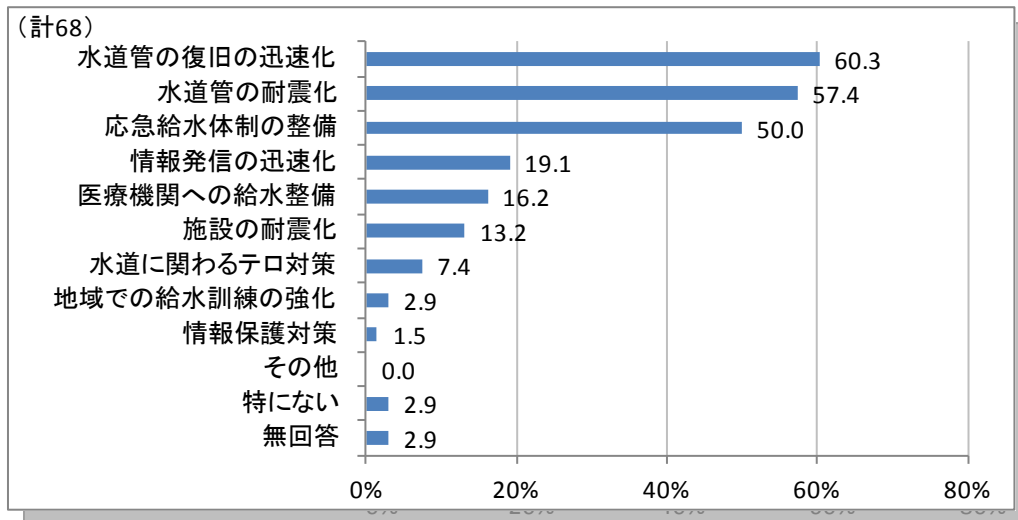
	具体的な場所を知っている	聞いたことはあるが、場所は知らない	知らなかった
全 体 (計：67)	4	22	41
官公庁・官公庁関連施設 (計：5)	1	-	4
教 育 施 設 (計：1)	-	-	1
医 療 機 関 ・ 福 祉 施 設 (計：21)	1	7	13
卸 ・ 小 売 業 (計：12)	-	3	9
飲 食 業 (計：3)	-	-	3
事 務 所 ・ 事 業 所 (計：8)	2	4	2
宿 泊 施 設 (計：3)	-	1	2
文化・スポーツ・娯楽施設 (計：1)	-	1	-
工 場 (食 品 加 工) (計：1)	-	-	1
工 場 (食 品 加 工 除 く) (計：3)	-	2	1
そ の 他 (計：9)	-	4	5

※サンプル数が少ないため参考値とします

## 質問12 災害時・非常時の対策として水道局に望むこと

災害時・非常時の対策として水道局に望むことでは、「水道管の復旧の迅速化」が60.3%で最も多くなっています。次いで、「水道管の耐震化」(57.4%)、「応急給水体制の整備」(50.0%)と上位3項目の割合が高くなっています。

■災害時・非常時の対策として水道局に望むこと■



■質問1 業種×質問12 災害時・非常時の対策として水道局に望むこと■

(単位：か所)

	水道管の耐震化	施設の耐震化	水道管の復旧の迅速化	地域での給水訓練の強化	応急給水体制の整備	医療機関への給水整備	情報発信の迅速化	情報保護対策	水道に関わるテロ対策	その他	特にない
全 体 (計:66)	39	9	41	2	34	11	13	1	5	-	2
官公庁・官公庁関連施設 (計:5)	2	1	2	-	2	-	1	-	-	-	1
教 育 施 設 (計:1)	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
医療機関・福祉施設 (計:21)	10	3	13	-	9	9	4	-	1	-	-
卸 ・ 小 売 業 (計:11)	7	1	8	-	8	2	4	-	-	-	-
飲 食 業 (計:3)	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
事務所・事業所 (計:8)	7	2	4	1	3	-	3	-	-	-	-
宿 泊 施 設 (計:3)	2	-	3	-	2	-	1	-	-	-	-
文化・スポーツ・娯楽施設 (計:1)	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
工場 (食品加工) (計:1)	-	-	1	-	1	-	-	-	1	-	-
工場 (食品加工除く) (計:2)	2	-	1	-	-	-	-	1	1	-	-
そ の 他 (計:10)	7	2	6	1	8	-	-	-	2	-	-

※サンプル数が少ないため参考値とします

## 5 広報・啓発活動について

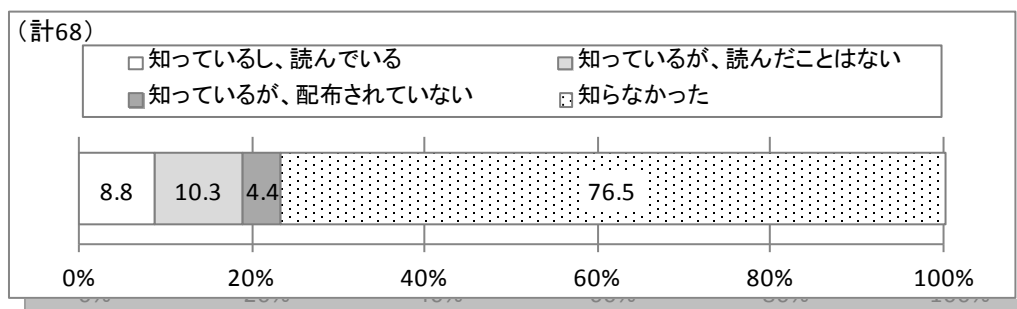
### 質問13 広報誌「みずぐるま」

広報誌「みずぐるま」については、「知らなかった」が76.5%で最も多くなっています。次いで、「知っているが、読んだことはない」が10.3%、「知っているし、読んでいる」は8.8%となっています。

業種別にみると、「知っているし、読んでいる」事業所は、「官公庁・官公庁関連施設」が3か所で最も多く、「事務所・事業所」、「工場（食品加工除く）」、「その他」がいずれも1か所となっています。

一方、「知らなかった」事業所は、「医療機関・福祉施設」が16か所、「卸・小売業」が10か所などとなっています。また、「官公庁・官公庁関連施設」や「教育施設」においても、それぞれ2か所、1か所が「知らなかった」と回答しています。

■広報誌「みずぐるま」について■



■質問1 業種×質問13 広報誌「みずぐるま」について■

(単位：か所)

	知っているし、 読んでいる	知っているが、 読んだことはない	知っているが、 配布されていない	知らなかった
全 体 (計：68)	6	7	3	52
官公庁・官公庁関連施設 (計：5)	3	-	-	2
教 育 施 設 (計：1)	-	-	-	1
医 療 機 関 ・ 福 祉 施 設 (計：21)	-	4	1	16
卸 ・ 小 売 業 (計：12)	-	1	1	10
飲 食 業 (計：3)	-	-	-	3
事 務 所 ・ 事 業 所 (計：8)	1	-	-	7
宿 泊 施 設 (計：3)	-	-	-	3
文化・スポーツ・娯楽施設 (計：1)	-	1	-	-
工 場 ( 食 品 加 工 ) (計：1)	-	-	-	1
工 場 ( 食 品 加 工 除 く ) (計：3)	1	-	1	1
そ の 他 (計：10)	1	1	-	8

※サンプル数が少ないため参考値とします

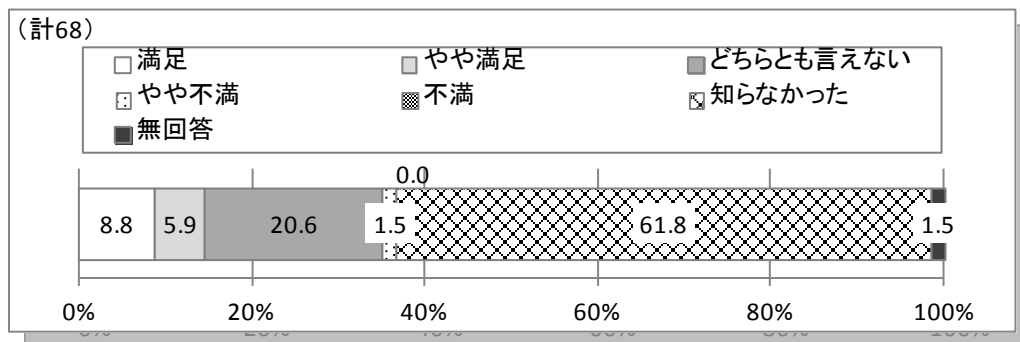
## 質問14 ホームページでの情報発信

ホームページでの情報発信について、「知らなかった」が61.8%で最も多くなっています。次いで、「どちらとも言えない」(20.6%)、「満足」(8.8%)となっています。なお、「不満」と回答した事業所はありませんでした。

業種別でみると、「満足」と回答したのは、「官公庁・官公庁関連施設」と「事務所・事業所」でいずれも2か所、「医療機関・福祉施設」と「工場（食品加工）」でいずれも1か所となっています。

一方、「知らなかった」と回答したのは、「医療機関・福祉施設」が12か所、「卸・小売業」が9か所などとなっています。

■ホームページでの情報発信■



■質問1 業種×質問14 ホームページでの情報発信■

(単位：か所)

	満足	やや満足	どちらとも 言えない	やや不満	不満	知らな かった
全 体 (計：67)	6	4	14	1	0	42
官公庁・官公庁関連施設 (計：5)	2	0	0	0	0	3
教 育 施 設 (計：0)	0	0	0	0	0	0
医 療 機 関 ・ 福 祉 施 設 (計：21)	1	1	7	0	0	12
卸 ・ 小 売 業 (計：12)	0	1	2	0	0	9
飲 食 業 (計：3)	0	0	0	0	0	3
事 務 所 ・ 事 業 所 (計：8)	2	1	2	0	0	3
宿 泊 施 設 (計：3)	0	0	1	0	0	2
文化・スポーツ・娯楽施設 (計：1)	0	0	0	0	0	1
工 場 (食 品 加 工) (計：1)	1	0	0	0	0	0
工 場 (食 品 加 工 除 く) (計：3)	0	1	0	1	0	1
そ の 他 (計：10)	0	0	2	0	0	8

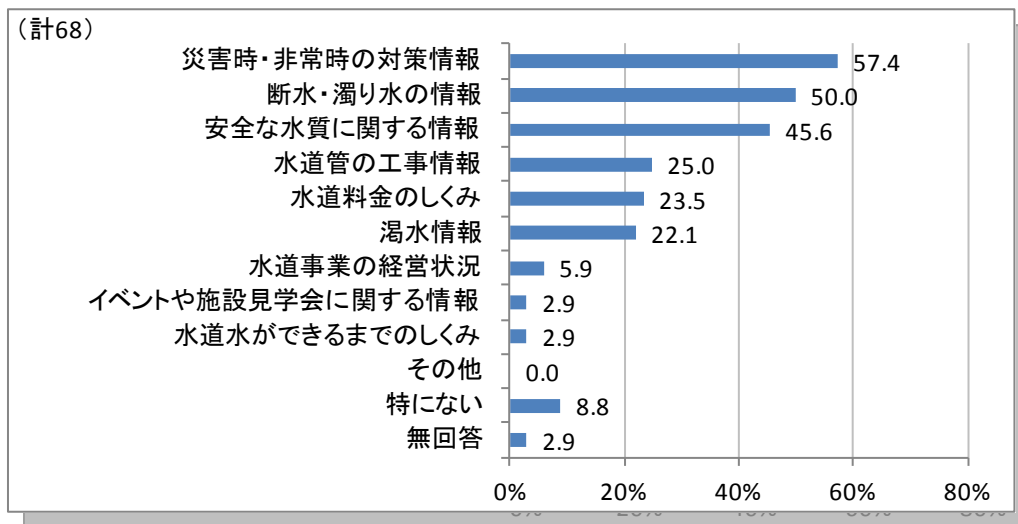
※サンプル数が少ないため参考値とします

## 質問15 知りたい水道情報

知りたい水道情報では、「災害時・非常時の対策情報」が57.4%で最も多くなっています。次いで、「断水・濁り水の情報」(50.0%)、「安全な水質に関する情報」(45.6%)となっており、上位3項目の割合が特に高くなっています。

業種別にみると、「災害時・非常時の対策情報」では、「医療機関・福祉施設」が10か所、「卸・小売業」が7か所、「事務所・事業所」が5か所、「官公庁・官公庁関連施設」が4か所などとなっています。

■知りたい水道情報■



■質問1 業種×質問15 知りたい水道情報■

(単位：か所)

	断水・濁り水の情報	水道管の工事情報	安全な水質に関する情報	渇水情報	水道料金のしくみ	水道事業の経営状況	災害時・非常時の対策情報	イベントや施設見学会に関する情報	水道水ができるまでのしくみ	その他	特になし
全 体 (計:66)	34	17	31	15	16	4	39	2	2	-	6
官公庁・官公庁関連施設 (計:5)	2	-	2	1	-	-	4	-	-	-	1
教育施設 (計:0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
医療機関・福祉施設 (計:20)	15	6	13	2	4	2	10	1	1	-	-
卸・小売業 (計:12)	5	2	4	5	3	-	7	-	-	-	2
飲食業 (計:3)	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	2
事務所・事業所 (計:8)	4	4	3	2	1	-	5	1	-	-	-
宿泊施設 (計:3)	2	2	1	1	1	1	2	-	-	-	-
文化・スポーツ・娯楽施設 (計:1)	1	-	1	-	1	1	1	-	-	-	-
工場(食品加工) (計:1)	1	1	1	1	1	-	1	-	1	-	-
工場(食品加工除く) (計:3)	-	-	1	1	-	-	1	-	-	-	1
その他 (計:10)	3	1	4	2	5	0	8	0	0	0	0

※サンプル数が少ないため参考値とします

## 6 水道事業について

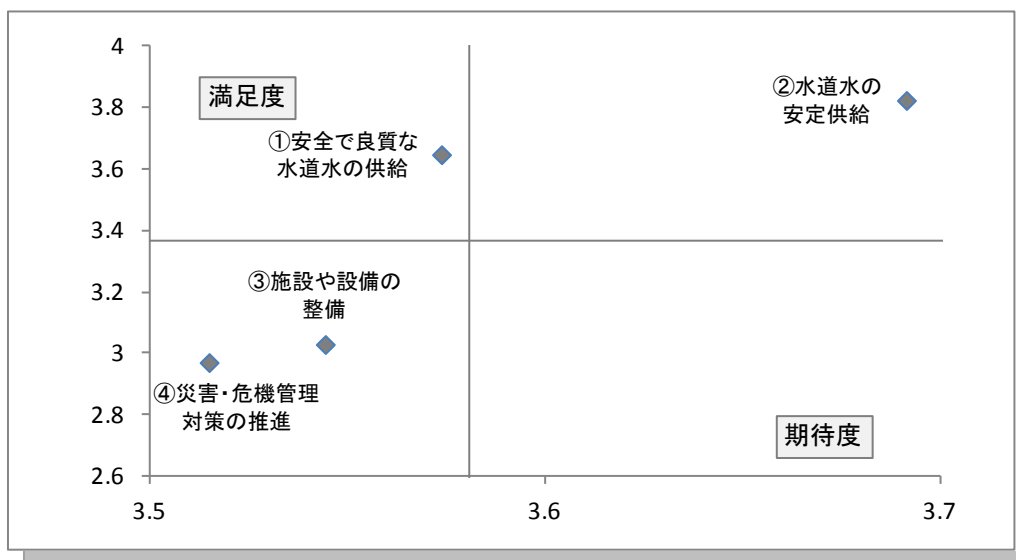
### 質問16 水の安定した供給のための取り組みについての現在の満足度と今後の期待度

水の安定した供給のための取り組みについての現在の満足度と今後の期待度では、「①安全で良質な水道水の供給」においては、期待度は全体の平均以下となっていますが、現在の満足度は高くなっています。

「②水道水の安定供給」においては、満足度、期待度ともに高くなっています。

「③施設や設備の整備」、「④災害・危機管理対策の推進」においては、期待度、満足度ともに低いため、注意が必要であるとともに、期待度の水準に満足度の水準が達していないことから、満足度を引き上げる必要があるといえます。

■水の安定した供給のための取り組みについて(ポートフォリオ分析)■



■水の安定した供給のための取り組みについて■

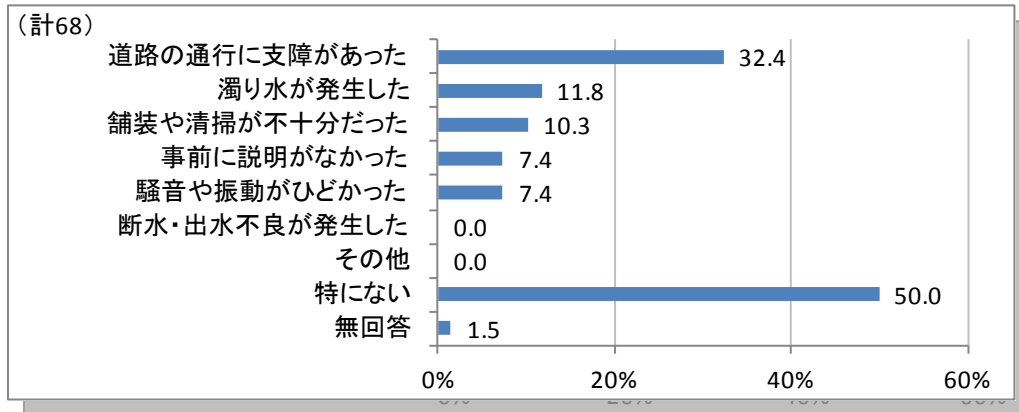
項目	満足度	期待度	期待度-満足度
①安全で良質な水道水の供給	3.65	3.57	-0.07
②水道水の安定供給	3.82	3.69	-0.13
③施設や設備の整備	3.03	3.54	0.51
④災害・危機管理対策の推進	2.97	3.51	0.54

## 質問17 水道局の工事などで不満に感じたこと

水道局の工事などで不満に感じたことでは、「特にない」が50.0%で最も多くなっています。次いで、「道路の通行に支障があった」(32.4%)となっています。

業種別にみると、「道路の通行に支障があった」では、「医療機関・福祉施設」が10か所、「卸・小売業」が5か所、「事務所・事業所」が3か所などとなっています。

### ■水道局の工事などで不満に感じたこと■



### ■質問1 業種×質問17 水道局の工事などで不満に感じたこと■

(単位：か所)

	断水・出水不良が発生した	濁り水が発生した	舗装や清掃が不十分だった	道路の通行に支障があった	事前に説明がなかった	騒音や振動がひどかった	その他	特にない
全体(計:67)	0	8	7	22	5	5	0	34
官公庁・官公庁関連施設(計:5)	0	1	1	1	0	0	0	2
教育施設(計:1)	0	0	0	0	0	0	0	0
医療機関・福祉施設(計:21)	0	2	4	10	1	3	0	8
卸・小売業(計:12)	0	1	0	5	1	1	0	7
飲食業(計:3)	0	2	0	1	0	0	0	0
事務所・事業所(計:8)	0	0	1	3	0	1	0	5
宿泊施設(計:3)	0	0	0	0	1	0	0	2
文化・スポーツ・娯楽施設(計:1)	0	0	0	0	0	0	0	1
工場(食品加工)(計:1)	0	1	0	0	0	0	0	0
工場(食品加工除く)(計:3)	0	0	0	0	0	0	0	3
その他(計:10)	0	1	1	2	2	0	0	6

※サンプル数が少ないため参考値とします

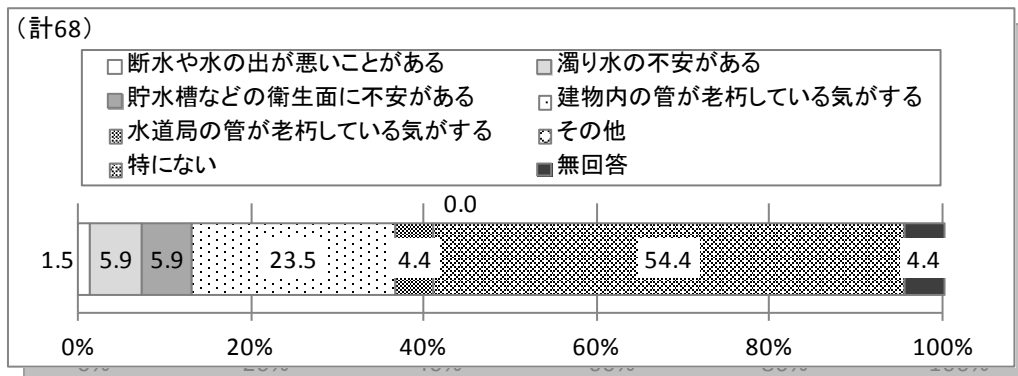


## 質問18 配管に関して不安なこと

配管に関して不安なことでは、「特にない」が54.4%で最も多くなっています。次いで、「建物内の管が老朽している気がする」(23.5%)となっています。

業種別にみると、「建物内の管が老朽している気がする」では、「医療機関・福祉施設」が3か所、「官公庁・官公庁関連施設」、「飲食業」、「事務所・事業所」がいずれも2か所などとなっています。

### ■配管に関して不安なこと■



### ■質問1 業種×質問18 配管に関して不安なこと■

(単位：か所)

	断水や水の出が悪いことがある	濁り水の不安がある	貯水槽などの衛生面に不安がある	建物内の管が老朽している気がする	水道局の管が老朽している気がする	その他	特にない
全 体 (計:65)	1	4	4	16	3	0	37
官公庁・官公庁関連施設 (計:5)	0	0	0	2	1	0	2
教 育 施 設 (計:0)	0	0	0	0	0	0	0
医療機関・福祉施設 (計:20)	1	2	2	3	1	0	11
卸・小売業 (計:12)	0	2	1	0	0	0	9
飲 食 業 (計:3)	0	0	0	2	0	0	1
事務所・事業所 (計:7)	0	0	0	2	0	0	5
宿 泊 施 設 (計:3)	0	0	0	1	0	0	2
文化・スポーツ・娯楽施設 (計:1)	0	0	0	0	0	0	1
工場 (食品加工) (計:1)	0	0	0	0	1	0	0
工場 (食品加工除く) (計:3)	0	0	1	1	0	0	1
そ の 他 (計:10)	0	0	0	5	0	0	5

※サンプル数が少ないため参考値とします

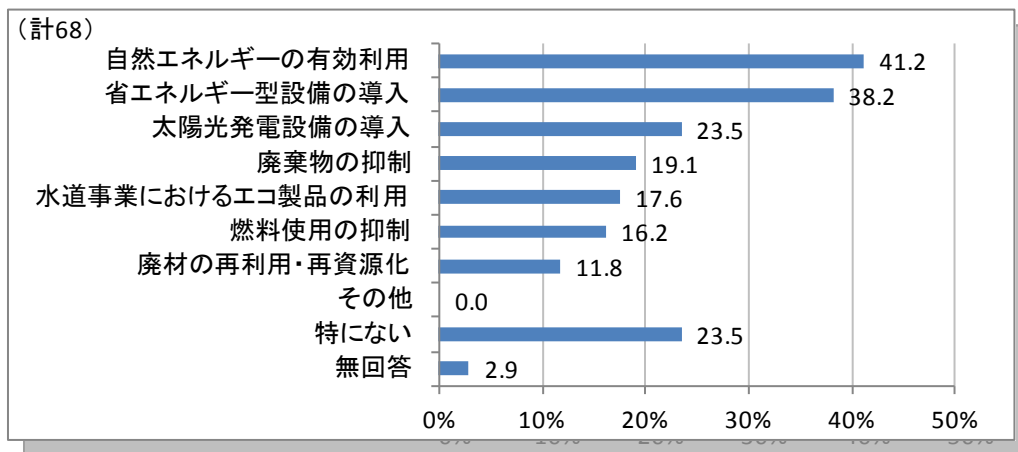
## 7 環境との調和について

### 質問19 水道局における環境への取り組みについて期待すること

水道局における環境への取り組みについて期待することでは、「自然エネルギーの有効利用」が41.2%で最も多くなっています。次いで、「省エネルギー型設備の導入」(38.2%)、「太陽光発電設備の導入」(23.5%)となっています。

業種別にみると、「自然エネルギーの有効利用」を重要視しているのは、「医療機関・福祉施設」、「卸・小売業」がいずれも7か所、「事務所・事業所」が3か所などとなっています。

#### ■今後の水道局の取り組みにおいて重要視すること■



#### ■質問1 業種×質問19 今後の水道局の取り組みにおいて重要視すること■

(単位：か所)

	省エネルギー型設備の導入	太陽光発電設備の導入	自然エネルギーの有効利用	廃棄物の抑制	廃材の再利用・再資源化	水道事業におけるエコ製品の利用	燃料使用の抑制	その他	特にない
全 体 (計:66)	26	16	28	13	8	12	11	0	16
官公庁・官公庁関連施設 (計:5)	2	3	1	0	0	0	1	0	2
教育施設 (計:0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
医療機関・福祉施設 (計:20)	6	4	7	4	2	4	3	0	5
卸・小売業 (計:12)	6	2	7	4	1	3	2	0	2
飲食業 (計:3)	1	0	1	0	0	0	0	0	1
事務所・事業所 (計:8)	4	4	3	2	2	1	1	0	2
宿泊施設 (計:3)	2	0	1	0	0	1	1	0	1
文化・スポーツ・娯楽施設 (計:1)	1	0	1	0	0	0	0	0	0
工場 (食品加工) (計:1)	1	0	1	0	1	0	0	0	0
工場 (食品加工除く) (計:3)	0	1	2	1	0	1	1	0	0
その他 (計:10)	3	2	4	2	2	2	2	0	3

※サンプル数が少ないため参考値とします

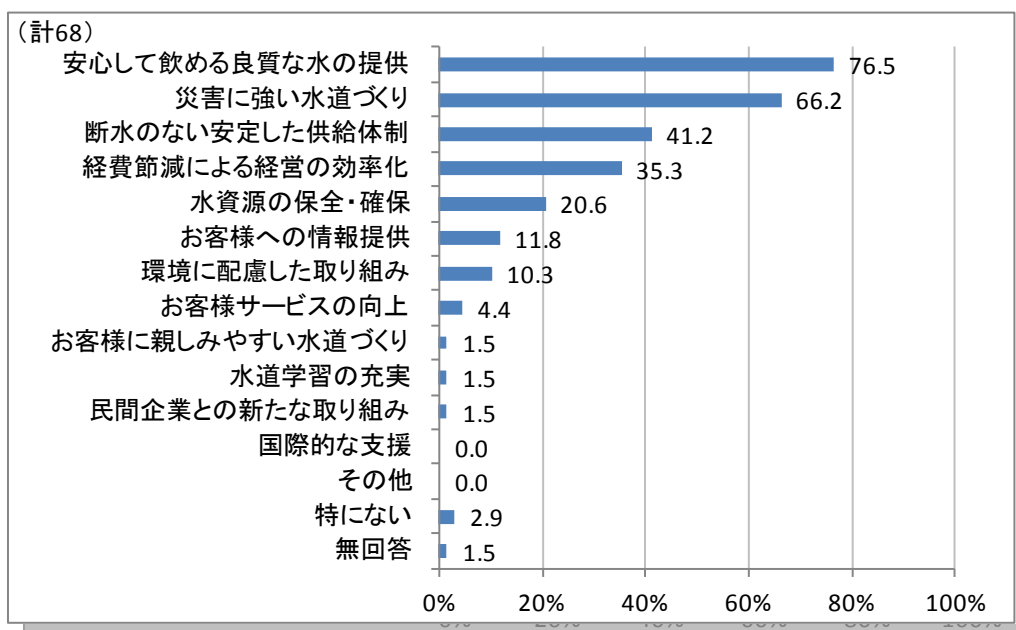
## 8 今後の課題について

### 質問20 今後の水道局の取り組みにおいて重要視すること

今後の水道局の取り組みにおいて重要視することでは、「安心して飲める良質な水の提供」が76.5%で最も多くなっています。次いで、「災害に強い水道づくり」(66.2%)、「断水のない安定した供給体制」(41.2%)となっています。

業種別にみると、「安心して飲める良質な水の提供」では、「医療機関・福祉施設」が18か所、「卸・小売業」、「事務所・事業所」がいずれも7か所、「官公庁・官公庁関連施設」が5か所などとなっています。

■今後の水道局の取り組みにおいて重要視すること■



■質問1 業種×質問20 今後の水道局の取り組みにおいて重要視すること■

(単位：か所)

	安心して 飲める 良質な 水の提供	断水の ない 安定した 供給体制	災害に 強い水道 づくり	経費節減 による 経営の 効率化	お客様 サービス の向上	お客様 への 情報提供	お客様に 親しみや すい水道 づくり
全 体 (計:67)	52	28	45	24	3	8	1
官公庁・官公庁関連施設 (計:5)	5	1	3	1	0	1	0
教 育 施 設 (計:0)	0	0	0	0	0	0	0
医療機関・福祉施設 (計:21)	18	10	18	8	2	0	1
卸 ・ 小 売 業 (計:12)	7	7	4	5	1	4	0
飲 食 業 (計:3)	3	0	3	1	0	1	0
事務所・事業所 (計:8)	7	5	5	1	0	2	0
宿 泊 施 設 (計:3)	2	1	2	2	0	0	0
文化・スポーツ・娯楽施設 (計:1)	1	1	0	1	0	0	0
工場 (食品加工) (計:1)	1	1	1	0	0	0	0
工場 (食品加工除く) (計:3)	2	0	3	0	0	0	0
そ の 他 (計:10)	6	2	6	5	0	0	0

環境に 配慮した 取り組み	国際的な 支援	水道学習 の充実	民間企業 との 新たな 取り組み	水資源の 保全・確保	その他	特にない
7	0	1	1	14	0	2
0	0	0	0	1	0	0
0	0	0	0	0	0	0
1	0	0	0	4	0	0
3	0	0	0	2	0	1
1	0	0	0	0	0	0
1	0	1	0	2	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
1	0	0	0	2	0	0
0	0	0	1	3	0	1

※サンプル数が少ないため参考値とします